

参加者：黒木、中川、松田、菅井、中山

ZOOMで行いました。

議題 1. 世田谷区気候危機区民会議 2月10日の件

2. 先に提出の世田谷区地球温暖化対策地域推進計画（素案）の区民意見募集の実施結果

[世田谷区地球温暖化対策地域推進計画（素案）の区民意見募集の実施結果 | 世田谷区ホームページ \(setagaya.lg.jp\)](https://setagaya.lg.jp)

<気候危機区民会議>

\*参加は4チーム+online2チーム活動報告でした。

\*会場の音が不鮮明でした。Onlineの音は良く聞こえました。

\*与えられた時間が短いので十分な説教が出来ませんでした。

\*100人委員会が区長の好きな無作為抽出になるのか気になりました。須田課長に期待します。

\*後半は区長が直接答える形になった。区長はある程度理解をしている様子だった。

\*始まる以前に黒木さん、岩井さん、菅井さんが須田課長に会ってくださったことがとても有効だった。

須田課長が前向きに対応してくださってうれしく思います。

\*玉川支所が仮事務所なので訪ねてみます。

<区からの回答について>

\*菅井さんが各人に回答を読みやすく赤字にして配布しています。（25日のメール）

\*意見123軒 人数39名。仲間たちから32件中12件の回答は「参考にします」でした。

(1)①プロジェクトは横串が必要な回答。4月の選挙の後になるのか。

\*みどりが前回より減っている。少しでも良いのでプラスにしてほしい。

\*1つの課では前に進めない。CO2削減も解体の時の計算は入っていない。会議の時のチームにも共有してほしい。

②区議会で議論してない →区議会に伝えます。

③100委員会 → 検討します

など

みどり特区は「農の風景育成」をしています。税の優遇は7年延長しました。

暗渠は北沢緑道のもと玉川上水で246号線の大橋まで続き、目黒川（桜並木）となっています。

農業は区民農園があります。→実績の状態が不明。農協が強いので民間が入りにくい。

雨水について、防火水槽はあるが、雨水活用についての説明がない。

小型風力発電は脱炭素に有効。

風力発電は住宅街の騒音ばかりではなく空き地を利用できる。

地方の自治体はさらに推進している。PR不足を感じる。

落ち葉発電の出来るのではないか。

ゴミ発電は？ 日立は発電で進んでいる。海外では有名。

ごみの有料化は23区で足並みをそろえるので時間がかかる。

粗大ごみは再利用へ。

ストローとスプーンは国の問題。竹で作ると成長が早く、土にも戻る。

行政とは行動とマッチングさせる。

\*世田谷らしいとは緑に取り組むこと。

\*仮事務所が玉川にあるので土木課とみどり政策と太くつながってほしい。

\*NHK ワールドニュースの取材があった。（中川氏）

1. 気候危機区民会議を一回に終わらせずに継続して年四回くらい継続して開催せよという意見を 2/10 の区民会議でも言ったのですが、それについてどう対応するつもりなのか、を確認したいところです。

2. また、100人委員会については「**区における議論の場について、検討してまいります。**」ということなので、メンバーについてどういう選任の仕方をするのかも含めこれをフォローしていくことが必要だろうと思いました

3. 更に、区民会議の終了後須田課長に、他の5団体との連携を図りたいので連絡先を共有したいと言った点について何ら返事が無いのですが、今後どう進めたら良いだろうか。

菅井様 ホストをありがとうございます。

次回については3月25日土曜日夕方4時からオンラインを予定しています。